

堂馬 英二

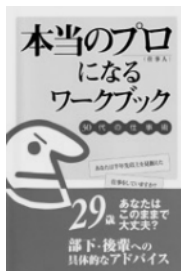
『本当のプロ(仕事人)になるワークブック：30代の仕事術』

2006年 アスカ・エフ・プロダクツ 1400円 (抜粋/四木)

この本では、「いい仕事」を実践するお手伝いをします。

30歳前後の人で、自身の仕事の世界をもっと充実させたいと真剣に悩んでおられる方に役立てたいと考えています。

人生でも仕事においても、30代は最も活力にあふれた時期です。この30代をいかに生き抜くかを真正面から見据えることは大変重要です。当然ですが、唯一の正しい答えはあり得ません。自分自身が納得して、30代を歩まれることを応援していきます。



この本の内容は、理論や理屈よりも実際の体験を基にしています。事例で登場するA子さん、Bさん、Cさんの部分はフィクションですが、この3人の中に、30歳前後の悩める人の特徴を織り込みました。その特徴の一部でも共感できたら、主人公になったつもりで読み進めてください。

本書は、30歳前後から30代の活躍ぶりを見渡して、自ら考えて学習できるワークブックです。例えば、STEP 1 からSTEP 4 の冒頭には、現在の「仕事ぶり」を見直すワークシート、30代の「活躍ぶり」を描くワークシート、自分の「仕事ぶり」を進化させるワークシート、35歳への道をつくるワークシートなどを用意しています。ステップを踏んで、自己点検しながら内容を読んでいただくと理解しやすいと思います。

わたくしは1991年に、「豊かなビジネスライフを支援する」という目的で、「ワークスタイル研究所」を設立しました。「ワークスタイル」という名称を日本で初めて社名に使ったのです。その時、「ワークスタイル」という意味を、「働き様(はたらきざま)」とみなしました。

そして、30歳前後の10年間に対象に、「実践研究コース」という「働き様」を設計するための斬新な人材育成プログラムを開発しました。「実践研究コース」の開発や展開にあたっては、主旨に共感される企業の経営者や人材育成の責任者の方々とともに、まさに実践研究をしました。

「実践研究コース」で自己学習を修了する人の60%ほどが「カラ破り」をします。通常のプログラムでは10%が目処ですので、驚異的な実態です。30年近く人材育成に携わってきて、改めて「人は変わる、人は育つ」と実感しました。そして、悩みつつ実践研究し、感動して成長変化した多くの人の実践体験、実績や教訓を蓄積できました。これらの自己成長のプロセスやノウハウは、30歳前後の人たちが広く共有できる貴重な知的財産です。

(「はじめに」より)